



【日本気象協会からのお知らせ】

2025 年 6 月 23 日
一般財団法人 日本気象協会

第 12 回「震災対策技術展」大阪に出展 ～出展を通して気象・防災知識の普及を目指します～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、理事長：渡邊 一洋、以下「日本気象協会」）は、2025 年 7 月 3 日（木）～4 日（金）に開催される第 12 回「震災対策技術展」大阪に出展します。

日本気象協会は、気象・防災知識の普及啓発を目的として公益事業を実施しています。日本気象協会の各種展示内容が、気候変動対策への理解向上や、気象災害の被害軽減につながる知識向上のきっかけとなれればと考えています。皆さまのご来場をお待ちしています。

概要

■ 開催日時

2025 年 7 月 3 日（木）～4 日（金） 10：00～17：00

■ 場所

マイドームおおさか（大阪府大阪市中央区本町橋 2 番 5 号）

■ 入場方法

来場登録制（詳細は公式サイト <https://shinsaieexpo.com/osaka/> をご確認ください）

■ 入場料金

無料

日本気象協会の出展内容

■ セミナー

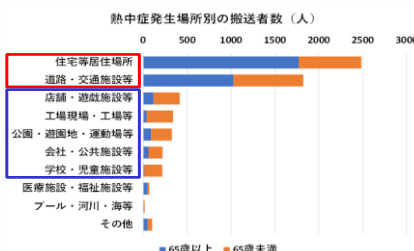
「気候変動を見据えた熱中症に関するリスク対策の方向性」について講演を行います。社会・防災事業部 技師 遠藤理が、熱中症リスクが高まるところや将来の熱中症リスクの増加程度を示しつつ、熱中症を「危機管理」の一環として認識し、社会全体で向き合うための適応策を解説します。（セミナー情報：<https://shinsaieexpo.com/osaka/2025s15/>）

また、気候変動を見据えた熱中症リスクのパネル展示も行います。



社会・防災事業部
技師 遠藤理

屋外での熱中症が多いのは高齢者以外



集計期間：令和4年6月～9月
地域：東京都内
データ出典：東京消防庁ホームページ
<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/life/topics/season/toukei.html>

高齢者は大半が
自宅または
道路(移動中)
で発症
高齢者以外は
屋外や作業中
でも発症

屋外での活動を
控える必要性

セミナー資料イメージ

■ 豪雨・暴風疑似体験学習アトラクション「HERASEON（ヘラセオン）※」

- ・ AR（拡張現実）により画面上で豪雨や暴風を疑似体験できる豪雨・暴風疑似体験学習アトラクション「HERASEON」を展示します。
- ・ 「時間雨量〇〇mm」「風速〇〇m/s」という情報が表示されるため、天気予報で使われる「強い～猛烈」の状態を疑似体験できます。

※HERASEONは「HEavy RAIN and Strong wind Educational attraction」の略



「HERASEON」体験のイメージ

■ 「tenki.jp 知る防災」プロジェクトの冊子を配布

- ・ 天気予報専門メディア「tenki.jp 知る防災」プロジェクトに掲載している情報をもとに制作した冊子を配布します。
- ・ 雷、台風、高潮、大雪などのメカニズムをやさしく記した「知る防災～しくみ編～」と「知る防災～地震編～」の2編をご来場者へ配布します。
- ・ 「tenki.jp 知る防災」リンク：<https://tenki.jp/bousai/knowledge/>



■ リンク

- ・ 出展者一覧 一般財団法人 日本気象協会
<https://shinsaexpo.com/osaka/exhibit/20245842/>